

令和 6 年度 各区の地域課題の解決に向けた取組状況について

葵区事務局会議・連絡調整会議 事務局

テーマ	<ol style="list-style-type: none"> 1.防災意識が薄れないための継続的な活動と情報の集約 2.葵区中山間地域の障害者等支援サービス等実態把握 3.障害児と親の支援 ▶ 医療的ケア児の短期入所利用の実態把握 4.これまでに自立支援協議会へ出された各区地域課題の見える化および課題整理
概要 (課題となるポイント)	<ol style="list-style-type: none"> 1.災害時等の被災によって障害のある方々が取り残されてしまう危険性が高く、相談員がどの様に動くか不明な点が多いことが課題。 2.葵区中山間地域で障害サービス提供事業者が特に不足している事が課題。 3.障害児とその親に関する課題は多数あるが、特に医療的ケア児と、強度行動障害児等における、緊急時の避難的利用施設の不足による課題が多くある。 4.これまで自立支援協議会に提出された地域課題には、類似の課題があると認識しているが、協議内容や成果を簡単に調べて把握する事ができない。以前に出された地域課題と重複して取り組んでしまう事が課題。
詳細 ・現状分析 ex.相談事例（相談者の声） 既存のサービス 既存のデータ	<ol style="list-style-type: none"> 1. 防災に関連する勉強会を隔月で実施。相談支援専門員へのアンケート結果では、一定の高評価を得る事が出来た。また、令和 6 年 3 月には能登半島地震で被災した障害者やその支援者の実態についての勉強会を行った。今年度も継続的に勉強会を行い、最終的に相談員の活動指針的な冊子を作成し成果物とする。 2. 葵区中山間地域へのサービス提供事業者不足の課題は、昨年度のアンケート調査を経て、更なる実態調査が必要との判断。障害者協会と協働し、介護保険分野と障害福祉分野共同で当該地域での福祉相談会を開催していく。 3. 障害児とその親の支援に関して今年度は静岡市障害福祉企画課と各機関との連携で実施されるアンケート結果を参考に、医療的ケア児の短期入所を実施している事業所と、実際にご利用なされている方のご家族等を招き、連絡調整会議を開催して率直な意見交換ができないか協議する。 4.これまでに自立支援協議会に提出された地域課題（解決課題等）に類似性があり、各区地域課題を見える化する事で、これまでの課題を整理することができるのではないかと議論した。
事務局会議・連絡調整会議としての 解決に向けた取組み ex.市場分析（環境分析） ニーズの把握	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎月防災に関する勉強会を実施して、アンケート集計から冊子の土台を作る。 2.相談会を通じて地域のニーズを把握する。 3.他機関と連携して今後の対応策を検討する。 4.これまでの地域課題を調べて見える化する。

<p>解決策や今後の方針</p>	<p>テーマ1について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆防災ミニ勉強会 毎月開催予定（事務局会議内） ◆研修を積み重ねることで、相談員の知識向上へつなげる取り組みを行う。 <p>テーマ2について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆介護保険分野と障害福祉分野共同で【福祉相談会】 <p>美和地区：6月4日(火) 8月6日(火) 10月1日(火) 12月3日(火) 2月4日(火)</p> <p>薫科地区：5月9日(木) 9月12日(木) 令和7年1月9日(木)</p> <p>テーマ3について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆医療的ケア児の事例検証を行っていき、区として取り組める課題を整理する。 <p>テーマ4について</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆葵区相談支援事務局で取り組んで行く内容 ➡事例検証を通して葵区の地域課題を整理し見える化する。
------------------	---

令和6年度 各区の地域課題の解決に向けた取組状況について

駿河区事務局会議・連絡調整会議 事務局

<p>テーマ</p>	<p>① 個別事例の支援内容の検証（事例検討） ② 事例検討に関連する勉強会等</p>
<p>概要 （課題となるポイント）</p>	<p>① 「静岡県障がい者共生のまちづくり計画（案）令和6年度～12年度」において障害者相談支援事業の活動指標に示された「個別事例の支援内容の検証」及び「自立支援協議会における事例検討実施」に基づき、事例検討を実施する。 ② 上記事例検討に関連する勉強会等を企画・実施する。</p>
<p>詳細 ・現状分析 ex.相談事例（相談者の声） 既存のサービス 既存のデータ</p>	<p>① 「静岡県障がい者共生のまちづくり計画（案）令和6年度～12年度」において、障害者相談支援事業の活動指標「⑤個別事例の支援内容の検証回数（令和6年度：3回/3区）」及び「⑦自立支援協議会における事例検討実施回数（令和6年度：15回/3区）」の目標が示された。これに基づき、令和6年度の駿河区事務局会議において年6回的事例検討（基幹1回、委託ほか5回）を実施する。 ② 事例検討に挙げられたケースに関連するテーマやトピックについて、各分野の専門機関と協働し、随時勉強会等を企画・実施する。</p>
<p>事務局会議・連絡調整会議としての解決に向けた取組み ex.市場分析（環境分析） ニーズの把握</p>	<p>① 目標回数を定めての事例検討実施は本年度からの新たな取り組みとなるため現状では未知数な部分があるが、事例検討を通じて地域のネットワークづくりや地域課題の抽出など、成果のある活動となるように取り組みたい。 ② 各機関から寄せられた事例検討のテーマに応じて、地域の相談支援関係者の知識・技術の向上につながる企画を検討する。</p>
<p>解決策や今後の方針</p>	<p>① 年6回的事例検討開催は計画的な実施が必要であり、事務局のみならず地域参加者の積極的な参画が必須となる。また、実施した事例検討のなかから地域課題を抽出し、解決困難な課題や全市的な課題については自立支援協議会に課題を上げていく。 ② 必要に応じて外部講師を依頼するなど、勉強会等については柔軟に対応していきたい。</p>

令和6年度 各区の地域課題の解決に向けた取組状況について

清水区事務局会議・連絡調整会議 事務局

<p>テーマ</p>	<p>①清水区東部地域（由比・蒲原）の相談支援体制の構築 ②相談支援事業所同士の交流・情報共有について</p>
<p>概要 （課題となるポイント）</p>	<p>①相談機関が近隣に無く、障害福祉サービス事業所も少ないため、困りごとがあっても相談先が見つけれず埋もれてしまう ②相談支援事業所同士の情報共有の場がなく、だれでも参加できる交流の場が必要であると考えられる</p>
<p>詳細 ・現状分析 ex.相談事例（相談者の声） 既存のサービス 既存のデータ</p>	<p>①由比・蒲原地域在住の場合、障害に関する相談支援事業所が無く、一部の方は地域包括に相談に行く。福祉的支援やサービス利用の情報が不足している可能性が高く、困りごとに対しての予防的支援が難しい。 ②数少ない交流の場となる区連絡調整会議にもなかなか参加できない事業所が多い。自立支援協議会の構成員であるとの認識が薄く、困り感などの課題の共有や解決のために会議が活用されていない。</p>
<p>事務局会議・連絡調整会議としての解決に向けた取組み ex.市場分析（環境分析） ニーズの把握</p>	<p>①令和2年度から「東部地域相談会」を開催している。開始当初は蒲原のみの開催であったが、令和4年度から蒲原・由比の2会場で開催している。 相談会の周知について、民生委員児童委員協議会定例会での案内や由比・蒲原地区の回覧板でのチラシ案内を行った年もあった。また、こども園、小中学校、駅、郵便局、コンビニ等に案内チラシ掲示依頼は毎年行っており、地域への相談会周知に努めている。 例年、奇数月開催となっていたが、今年度はニーズ拡大に合わせて毎月開催とする。また、開催場所は由比・蒲原の2会場で交互に実施する。 ②参加しやすい会議のあり方や各事業所での困りごとを話し合うため、令和6年5月27日（月）清水区役所313会議室にて令和6年度第1回清水区計画相談支援事業所の集いを開催した。 ・在宅ケア認定看護師を講師としてお招きし『訪問看護との関係の築き方』をテーマにした特別講演を実施。 ・その後、座談会形式でグループ協議を実施。テーマは困っていること（ケースに限らず）や情報共有したいこと等を中心に話し合われた。 清水区内の計画相談支援事業所全14事業所に声掛けをしたが参加は7事業所15人の参加、全体では14機関、24名の参加であった。</p>
<p>解決策や今後の方針</p>	<p>①ここ数年継続して、こども園、小中学校、駅、郵便局等にチラシ配布を行っている。そのことにより、各関係者から今年も掲示させてもらう等の言葉が聞かれており、理解と協力の輪が広がっている。関係者との関係を築き適切な支援に結び付けられる体制の構築を行う。 寄せられる相談を元にその地域で生活している方々が本当に困っていることを拾い出していく。 ②清水区計画相談支援事業所の集いで集まった意見も参考にし、各相談支援事業所が何に困っているかといったニーズを把握する。清水区事</p>

	<p>務局会議にて多くの相談支援事業所が参加し発言しやすい清水区連絡調整会議のあり方を検討し実施していく。</p>
--	---